

# ESA に関する FAQ : CRES キー サーバの IP とホスト名は何ですか。

## 目次

### [概要](#)

[CRES キー サーバの IP およびホスト名とは何か。](#)

[何が ESA でされる必要がありますか。](#)

### [関連情報](#)

## 概要

この資料はどのように記述したものです、E メール セキュリティ アプライアンス ( ESA ) の Cisco Registered Envelope Service ( CRES ) のためのファイアウォールで設定 すべきことを。

## CRES キー サーバの IP およびホスト名とは何か。

厳密なファイアウォール ルールの顧客は特定の IP アドレスのために CRES にアクセスするために権限が要求します。 ESA の CRES による暗号化は CRES にポート 80 および 443 Send 鍵 要求のためにファイアウォール ルールをメッセージを暗号化する必要とします。

CRES は SMTP を始めるためにこの IP アドレス範囲を- Transport Layer Security ( TLS ) セッション使用します:

TLS 配信のためのアクティブ ESA: 184.94.241.99 による 184.94.241.96

TLS 配信のためのバックアップ ESA: 208.90.57.35 による 208.90.57.32

逆 DNS名: .res.cisco.com

何人かの顧客はまた CRES のキー サーバ res.cisco.com にアクセスを制限するかもしれません。 CRES キー サーバ res.cisco.com に VIP の 2 つのブロックがあります。 適切な場合にはネットワークデバイス アクセス規則にそれらを追加して下さい:

Active: 184.94.241.78 ( 443 ) ポートによる 184.94.241.74

バックアップ: 208.90.57.18 ( 443 ) ポートによる 208.90.57.15

## 何が ESA でされる必要がありますか。

TLS のために使用する既存の送信側 グループに上記リストに記載されていた IP アドレス範囲お

よびホスト名を追加して下さい ( 着信 ) :

- GUI にログインします。
- メール ポリシー > ホスト アクセス 表 > 帽子外観の下で TLS 送信側 グループを ( 命名規則は変わります ) 編集して下さい。
- この IPアドレス範囲およびホスト名を追加して下さい:184.94.241.96-99、.res.cisco.com  
208.90.57.32-35、.res.cisco.com
- 変更を送信し、保存します。

注: それは IP アドレス 情報のためのルックアップをするためにどの未来の付加でも Domain Name Server ( DNS ) を使用するので強く推奨されています上の IPアドレス範囲と共にホスト名 *.res.cisco.com* を追加するために。

注: この情報は更新済およびいつでも変更されて。

前の CRES キー サーバはとしてリストされているかもしれません:

vega.res.cisco.com  
soma.res.cisco.com

前の情報を一致する ネットワークやファイアウォール ルールおよび定義同様にアップデートすることを推奨します。

## 関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)